



保確第 123 号
令和4年5月20日

教育長（保健体育課） 殿

沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部
総括情報部長（沖縄県保健医療部長）
（公印省略）

適正な救急受診のお願い（周知依頼）

現在、沖縄県では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、救急外来の受診者が急増しておりますが、多くは発熱や咳、喉の痛みといった軽症者の受診となっております。このままでは、緊急に処置が必要な救急患者が適正な医療を受けられない事態が懸念されることから、県民の皆さまには次のとおり適切な救急受診をお願いしているところです。

貴職におかれましては、同趣旨をご理解いただくとともに、関係機関へ周知して下さるようお願いいたします。

- 1 コロナウイルスの検査のみを目的とした救急受診はお控えください。
- 2 夜間、休日の急な子どもの体調不良時には、以下の「新型コロナに感染した（感染が疑われる）子どもを見守るポイント！」を確認の上、必要に応じて、小児救急電話相談（#8000番）へご相談ください。
- 3 コロナが疑われる場合には、薬局で購入できる医療用の抗原検査キットの活用や、市販薬等を服用することもご検討ください。（抗原検査キットで陽性となった場合、病院に行かずにオンラインで抗原定性検査・陽性者登録センターに届け出すことが可能です。（同センターHPはこちらから））

【県HP「子どもの体調不良時には？」より】

新型コロナウイルスに感染した子どもを見守るポイント！

メッセージ

新型コロナウイルスに感染しても、ほとんどのお子さんが1〜2日の発熱が続いたあとに自然に治ります。ただし、のどの痛みで水分が取れなかったり、下痢が続きたりすることで、脱水を起こすことがあります。そこで、自宅で療養するときには、ここで紹介するポイントを参考として、お子さんを定期的に見守ってください。

ポイント1：急いで受診すべき状態

- ・呼吸が速くなる（胸を膨らませる）息が浅い、胸で呼吸Gooや胸の痛み
- ・けいれんや、意識低下、嘔吐、けいれん、学習・運動低下
- ・発熱が続き、薬を服用しても熱が下がらない、または下がった後再び熱が出る
- ・脱水がひどい、口が乾いている、目が凹んでいる
- ・嘔吐や下痢が続き、水分が足りなくなっている
- ・その他、お医者さんや看護師さん、保健士さんなどから、お話を聞いてください

ポイント2：自宅で見守ってよい状態

子どもの体調が落ち着いて、水分が足りていて、発熱が落ち着いているのであれば、自宅で療養を続けてください。多いで受診しなくても大丈夫です。ただし、発熱だけで家の外に出ることはできません。発熱の治りを確認してから、ゆっくりと外出してあげてください。家族や近所のお子さんについては、おたがいの生活に気をつけてください。

詳しくはこちらから▼



沖縄県 子どもの体調不良時
で検索🔍又はURL↓をクリック
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/hoken/kansen-iryuu/taisei/20220502.html>